

2025年2月19日

関係各位

会社名：三井物産株式会社
代表者名：代表取締役社長 堀 健一
(コード8031)
本社所在地：東京都千代田区大手町
一丁目2番1号

豪州 Rhodes Ridge 鉄鉱石事業の権益取得に関するお知らせ

三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、社長：堀 健一）は、豪州 Rhodes Ridge 鉄鉱石事業（以下「本事業」）の権益（以下「本権益」）40%を取得することになりましたので、以下の通りお知らせします。本件取得は以下の2つの取引から構成されており、その合計額は5,342百万米ドル（約8,000億円）となる見込みです。

- ▶ VOC Group Limited（以下「VOC」）との間で、同社が保有する本事業の全持分権益^{*1}25%を取得する旨の譲渡契約を締結しました。取得価額は印紙税込みで3,339百万米ドル（約5,000億円）となり、今後、関連当局の承認等の先行要件の充足を以て2026年3月期中の完了を予定します。
- ▶ AMB Holdings Pty Ltd（以下「AMB」）との間で、本権益^{*1}15%取得に関する基本合意をいたしました。取得価額は印紙税込みで2,003百万米ドル（約3,000億円）です。今後、デューデリジェンスや交渉を経て、最終契約を締結する予定です。その後、契約締結後の関連当局の承認等の先行要件を充足の上で、完了する見込みです。

本権益は、当社が1960年代より鉄鉱石事業に携わる西豪州ピルバラ地域に位置し、68億トンの資源量を有する世界最大級の未開発鉄鉱床です。2030年までの生産開始を予定しており、40%持分の取得を通じ、当社の持分権益生産量は、初期生産体制において約16百万トン/年、将来的な拡張を経て最終的には40百万トン/年以上を見込みます。2024年3月期の当社持分鉄鉱石権益生産量は61百万トン/年であり、長期的な収益基盤がさらに強化されることとなります。

本事業の開発及び操業のオペレーターは、Rio Tintoが担います。同じくRio Tintoがオペレーターを担い、当社が参画するRobe River鉄鉱石事業と本事業は、地理的に近いことから、鉄道や港湾など既存インフラの活用、鉱石のブレンドによるシナジー創出が可能と見込まれます。

当社は、中期経営計画2026においてIndustrial Business Solutionsを攻め筋の一つとして定め、社会の発展に不可欠な資源、素材、インフラ等の安定供給の仕組み構築に取り組んでいます。本事業により生産された鉄鉱石は、Rio Tintoが販売する鉱石にブレンドされ、日本を含むアジア各国に輸出される予定です。当社は、本事業への参画並びにその後の開発・生産を通じて、アジアの長期的な経済成長に貢献して参ります。

なお、本権益取得に伴い、当社のキャッシュ・フロー・アロケーション*²の枠組みにおいて、追加資金 4,000 億円をマネジメント・アロケーション*³に充当します。その結果、マネジメント・アロケーションの残額は 5,500 億円となり、引き続き厳選した成長投資と機動的な株主還元を検討して参ります。

また、本件取得による 2025 年 3 月期連結業績への影響は軽微です。

1. Rhodes Ridge 鉄鉱石事業の概要

(1) 名 称	Rhodes Ridge Joint Venture
(2) 保 有 資 産	鉄鉱石権益（資源量：68 億トン）
(3) 権 益 比 率	
取 得 前	Rio Tinto 50%、 VOC (Rhodes Ridge Mining (No 2) Pty Ltd) 25%、 AMB (Rhodes Ridge Mining (No 1) Pty Ltd) 25%
25% 取得後 (VOC 保有分)	Rio Tinto 50%、当社 25%、 AMB (Rhodes Ridge Mining (No 1) Pty Ltd) 25%
15% 取得後 (AMB 保有分)	Rio Tinto 50%、当社 40%、 AMB (Rhodes Ridge Mining (No 1) Pty Ltd) 10%
(4) 取 得 対 価	合計 5,342 百万米ドル（約 8,000 億円） - VOC 保有分 (Rhodes Ridge Mining (No 2) Pty Ltd) : 3,339 百万米ドル（約 5,000 億円） - AMB 保有分 (Rhodes Ridge Mining (No 1) Pty Ltd) : 2,003 百万米ドル（約 3,000 億円）
(5) 開発スケジュール	初期スタディ：2025 年内に完了見込み 生産開始：2030 年までを予定

2. 相手先の概要

(I) VOC Group Limited

(1) 名 称	VOC Group Limited (Rhodes Ridge Mining (No 2) Pty Ltd)		
(2) 所 在 地	Canning Bridge, Applecross WA 6153, Australia		
(3) 設 立 年 月 日	Wright Prospecting Pty Ltd : 1956 年 VOC Group Limited : 2012 年 Rhodes Ridge Mining (No 2) Pty Ltd : 2022 年		
(4) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	無し	
	人 的 関 係	無し	
	取 引 関 係	無し	
	関連当事者への該当状況	無し	
(5) 取 得 対 象	Rhodes Ridge 鉄鉱石事業の権益 25%		
(6) 取 得 対 価	3,339 百万米ドル（約 5,000 億円）		

(II) AMB Holdings Pty Ltd

(1) 名 称	AMB Holdings Pty Ltd (Rhodes Ridge Mining (No 1) Pty Ltd)		
(2) 所 在 地	Suite 3, Level 1, 254 Rokeby Road Subiaco WA 6008, Australia		
(3) 設 立 年 月 日	Wright Prospecting Pty Ltd : 1956 年 AMB Holdings Pty Ltd : 1998 年 Rhodes Ridge Mining (No 1) Pty Ltd : 2022 年		
(4) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	無し	
	人 的 関 係	無し	
	取 引 関 係	無し	
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	無し	
(5) 取 得 対 象	Rhodes Ridge 鉄鉱石事業の権益 15%		
(6) 取 得 対 価	2,003 百万米ドル (約 3,000 億円)		

- *1 本権益の 50%保有者であった Wright Prospecting Pty Ltd. は再編を経て、Wright Prospecting Pty Ltd. の株主である VOC と AMB それぞれが支配する子会社を設立。VOC は Rhodes Ridge Mining (No 2) Pty Ltd を通じて 25%権益を保有し、AMB は Rhodes Ridge Mining (No 1) Pty Ltd を通じて 25%権益を保有
- *2 基礎営業キャッシュ・フロー、投資キャッシュ・フロー、株主還元からなる当社の資金配分計画。中期経営計画期間 (2024 年 3 月期から 2026 年 3 月期の 3 年間) の累計金額を対象として策定
- *3 投資機会と事業環境を総合的に勘案し、成長投資と追加株主還元へ柔軟で戦略的な資金配分を実行する対象

以 上

本件に関する問合せ先：三井物産(株)

IR 部 TEL : 03(3285)7657

広報部 TEL : 080(5912)0321

ご注意：

本発表資料には、将来に関する記述が含まれています。こうした記述は、現時点で当社が入手している情報を踏まえた仮定、予期及び見解に基づくものであり、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包するものです。かかるリスク、不確実性及びその他の要素によって、当社の実際の業績、財政状況またはキャッシュ・フローが、こうした将来に関する記述とは大きく異なる可能性があります。こうしたリスク、不確実性その他の要素には、当社の最新の有価証券報告書、半期報告書等の記載も含まれ、当社は、将来に関する記述のアップデートや修正を公表する義務を一切負うものではありません。また、本発表資料は、上記事実の発表を目的として作成されたものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。